



狹野小学校 サ/ッ子田んぼ田植え(6月)



高原町

第52号

平成27年5月臨時会  
平成27年6月定例会

# 議会だより

## おもな内容

- ご挨拶(P2~P3)
- 一般質問、ここが聞きたい(P5~P8)
- ゆくさおじゃったもした農家民泊(P12)

■発行/高原町議会

■編集/議会だより編集委員会

☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-5138

■発行日 平成27年8月3日



the most beautiful  
villages  
in japan

## 議長・副議長あいさつ

### 高原町議会 議長



宮司 勳 (70歳) 3期  
北狭野区・下村

よろしく  
お願いいたします

地方分権の進展に伴い、今までのように事務の大半を国や県の指示に従って決定する時代は終わり、自治体自らが考え決定し、責任を負う時代になりつつあります。

高原町議会は、これらの状況を踏まえ、議会としての使命を果たすべく議会改革の一環として高原町議会基本条例を昨年3月に制定しました。

議会自ら策定した条例に議員が応えることが町民皆様の負託を受けた議員の使命であり、それが活力あるまちづくりにつながっていくものと思っています。

今、全国の自治体が昨年制定された「まち・ひと・仕事創生法」に基づき人口減少対策の基本となる5ヶ年の総合戦略の策定に取り組んでおり、本町でもその作業が進められています。

ご承知のとおり、本町では1年間に60人前後の子どもしか生まれていません。

町の財政負担も視野に、積極的な子育て支援や学校教育環境の整備は優先すべき課題ではないでしょうか。

戦略策定にあたっては多くの町民特に若い人たちとの協議の場を設け議論を深めてもらいたいと思います。

私たち議員も町民の皆様とともに町の課題や情報を共有し、まちづくりにその役割を果たして参りたいと思います。

私も皆様のご指導を賜り、議長の職責を全うしたいと思います。よろしく申し上げます。

### 高原町議会 副議長



入佐 廣登 (66歳) 5期  
西広原区・入佐

今年4月に統一地方選挙が行われ、高原町議会では今回3人の新人の方が当選をされ新体制がスタートしました。今後の高原町がどのように変わるのか、期待されているところかと思っています。

高原町も大きな課題をたくさん抱えています。農林、商工業の振興への対応、高齢者福祉、交通弱者対策等多くの課題があり、中でも人口減少は最も大きな課題であります。

国が少子高齢化、人口減少による地方の衰退に歯止めをかけるために地方創生事業が組まれました。地方にとりましては大変期待の持てる事業であり、この事業を活用した地域活性化に向けての取り組みが必要となります。

議会としましては、昨年議会基本条例を制定し、町民に開かれた議会として8月に第一回の議会報告会を行いました。今年も町民の皆様と膝を交えて、身近に皆様の声を聞き、それを町政発展に活かされて行けるように取り組みたいと思います。是非たくさんのお席をお願い致します。

今後も議会としまして二元代表制の下、町当局と常に緊張ある関係を保ちながら融和と公正を保ち、又、町民の皆様の声を十分お聞きしながら、豊かで住みやすいまちづくりに取り組んで参りたいと思います。

今年の梅雨は大変長かったために、農家の野菜や作物等に影響が出始めており、大変心配されておられるかと思っています。健康には十分ご自愛下さいようお願い致します。就任の挨拶と致します。

# 議 員 紹 介

よろしくお願ひします



北迫 泉 (62歳) 5期  
浦牟田区・迎



反田 吉已 (63歳) 1期  
南狭野区・皇子



陣 圭介 (40歳) 1期  
花堂区・上高松



温谷 文雄 (68歳) 2期  
下広原区・春之谷



中村 昇 (63歳) 6期  
並木区・下村移



清水 公雄 (69歳) 7期  
下後川内区・温水平



松元 茂春 (66歳) 2期  
上麓区・上町4丁目



益本 一博 (68歳) 1期  
鹿児島山区・東鹿児島山第3

(H27.8.1現在)

## 新 高原町議会委員会等の構成

### 一般会計予算・決算常任委員会

委員長	入 佐 廣 登
副委員長	益 本 一 博
委員	全議員で構成

### 総務経済常任委員会

委員長	温 谷 文 雄
副委員長	益 本 一 博
委員	反 田 吉 已
委員	入 佐 廣 登
委員	宮 司 勤

### 文教厚生常任委員会

委員長	松 元 茂 春
副委員長	清 水 公 雄
委員	陣 圭 介
委員	北 迫 泉
委員	中 村 昇

### 議会運営委員会

委員長	清 水 公 雄
副委員長	温 谷 文 雄
委員	益 本 一 博
委員	松 元 茂 春
委員	入 佐 廣 登

### 議会だより編集委員会

委員長	益 本 一 博
副委員長	陣 圭 介
委員	反 田 吉 已
委員	清 水 公 雄

### 西諸広域行政事務組合

議員	反 田 吉 已
議員	温 谷 文 雄
監査委員	中 村 昇

### 霧島美化センター事務組合

議員	陣 圭 介
議員	反 田 吉 已
議員	中 村 昇

### 高原町監査委員

監査委員	北 迫 泉
------	-------



## 6月定例会の あらまし

6月議会が6月10日から16日までの7日間の日程で開催されました。今議会には、報告3件、議案5件が提出され、審議の結果、すべて原案どおり可決されました。また、請願が3件提出され、それぞれの委員会に付託・審議されて2件について採択し、1件は

趣旨採択され意見書が発議されました。一般質問は第1、2日の2日間にわたって5議員からだされ、福祉、教育、土木、少子高齢化、農家の花嫁対策等広範な諸問題にわたって質問が出され、当局の見解をただしました。

# 「道の駅」 基本構想策定の 委託費を予算化

平成27年度一般会計補正予算第1号、2号が可決されました。今回の補正は、歳入歳出それぞれ57億5千981万1千円とするものです。

主な補正項目は、「道の駅」建設に向けた基本構想を策定するために950万4千円、また、マイナンバー制度が来年1月から導入されることを受けて、システムの準備に要する経費が計上されました。

補正の主な内容は、総務費・一般管理費に鹿兒島県口永良部島噴火災害に関する職員派遣旅費及び義援金26万円、企画費に地域活性化対策として「道の駅」基本構想策定費950万4千円、電子計算管理費に平成28年1月から導入されるマイナンバー制度に係る総合行政システム事業費として349万8千円が計上されました。

民生費・老人福祉費として介護保険事業特別会計への繰出金306万4千円、児童福祉費として公立保育所整備等に要する経費349万8千円が追加補正されました。

農林水産業費・畜産業費の畜産収益力強化対策事業補助金7千734万4千円は、規模拡大希望農家及び新規就農者へのリース方式による牛舎や堆肥舎等の建設に要する経費で、全額県補助金が財源になっています。

教育費・公民館費として、西広原活性化センター備品購入のため一般コミュニティ助成事業の補助金を受けて220万円が計上されました。

また、補正第2号では、教育費・保健体育費として広原サッカー少年団、高原野球スポーツ少年団等の上級大会への出場補助金が決まりました。





# 一般質問

## こころが聞きたい!!

6月議会は、5名の議員が質問を行い、町政について執行部の見解をただしました。

### 子どもの保育・教育環境の充実を!



陣 圭 議員

#### ○危機管理体制について

**問** 不明者の捜索等、危機管理体制の現状は。

**答** 行方不明者の捜索をはじめとした「山岳遭難」は、警察との協力業務として対処。総務課を担当部署として消防団長に出動を要請している。

#### ○保育士人材バンク

**問** 保育士不足について町の方針は。

**答** えびの市を先例として、保育士人材バンクの設置を早急に検討する。



光明保育園

#### ○いじめ問題

**問** いじめ問題についての現状と方針は。

**答** いじめは深刻な人権侵害であるという観点から、いじめを未然に防ぐために取り組んでいる。具体的にはアンケートを実施、「いじめ不登校対策委員会」等で分析や情報交換を行っている。教育委員会でも、

子どもの悩みや相談を受け止める人員の配置や組織づくりのみで情報を受ける体制を整えている。今後とも、教育委員会・学校や家庭、地域が一体となっていじめ防止に全力で取り組んでいく。



#### ○体罰問題

**問** 体罰問題についてどう考えるか。



**答** 体罰は、違法行為であるとともに、重大な人権侵害である。教える立場の教職員が、児童生徒の生命や基本的人権を侵害することはあってはならない。各学校においては、一人一人の子どもの人権を尊重した学校運営や教育指導に努め、子どもたちが豊かな人間関係の中で安心して学ぶことができる環境の確保に努めている。

#### ○公立学校の教育内容について

**問** 内申書の評価に影響することを示唆する発言により、授業中の秩序を維持するような指導や偏見を助長する指導等についてどう考えるか。

**答** 内申書の取扱いには十分な配慮が必要である。偏見を助長する指導については、教職員の言動が児童生徒に与える影響が大きいため、教職員自らの人権感覚をさらに高めていくことが大切である。今一度、教職員一人一人の人権感覚を見直すよう指導を継続して行っていく。





町長は議会での回答に誠実な対応を！



温谷 文雄議員

○過去の一般質問の検証

**問** 過去の一般質問で実施すると答弁があったものの未だに不履行（反故）である事件もあるが。

**答** 真摯に受け止め要望に応えられるようその実現に向けて努力する。

○肥育素牛購入資金貸付基金等の未償還者対策について

**問** 子牛の価格が高値安定となっているが、肥育

農家にとっては資金的に経営が苦しくなっている。町の肥育素牛購入貸付基金等は、滞納者による未償還額が相当あるが、対策は。

**答** 未償還額の現状は、8名の1千744万9千

円である。経営再建に向けて関係機関・団体と協議中である。また1名については、法的手段も視野に債権回収に向けて弁護士と協議中である。また、再発防止策として貸し付けた子牛に目的物譲渡担保の設定を行い債権の保全と基金の健全な運用を図っている。



少子化対策に

子ども医療費無料化の拡充を！



中村 昇議員

○憲法9条を踏みにじる違

憲立法

**問** 戦争法案（安全保障関連法案）は、自民党政

府自身が憲法9条のもとでは禁じられるとしてきた「戦闘地域」での軍事行動にも自衛隊が参加できるようにするなど、従来、課せられてきた「歯止め」をい

つさい取り払おうとしている。重大なことは、日本が武力攻撃を受けていないに

もかわららず、アメリカの戦争に参戦する「集団的自衛権」を発効する体制をつくらうとしていることである。

戦後70年を迎えた今、平和と民主主義を守るかどうか、日本の命運を左右する歴史的な岐路に立っている。町長の見解は。

**答** 集団的自衛権の行使容認など安全保障政策は、

国論が収れんしていない。政府は国民に十分な説明を行い、国会で国民が理解できるよう議論が行われるべきと考える。

○子ども医療費無料化の拡充を

**問**

都農町では、定住化をすすめるため過疎債を活用して中学卒業まで医療

費の助成を実施する。本町でも過疎債を活用し、子育て支援を。

**答** 財源の確保を図りながら段階的に拡充を検討する。

○保育士の確保を

**問** 保育士不足が深刻。背景に仕事に見合う賃金

や休みが保障されないという現実がある。処遇改善は緊急の課題。自治体独自で支援しているところもあるが、本町も支援を。

**答** 町独自の支援は困難で、県の事業を活用する。



光明保育園



○健康づくりについて  
スポーツの振興を

**問** 国保の医療費は県内で6番目に高い、一方、

1番低いのは都農町で、ここはスポーツ人口が多くスポーツを通じて健康な体づくりが行われている。本町もスポーツの振興を。

**答** スポーツ振興とスポーツ人口の拡大に資する施策を講じる。



○高齢者の健康対策を

**問** 国富町では「運動教室」で健康増進が図られており、その効果もあり介護保険料が県内で唯一引き下げられた。本町でも取り組みを。

**答** 茶飲み場を利用した取り組みを検討する。

集落営農組織の

未設立地区への対応は？



反田 吉巳議員

○農地中間管理機構の今の状況と今後の対応について

**問** 貸し手の方々への内容の説明の周知徹底がな

されていないと思うが、今後の対応はどうか。

**答** 今の状況は、平成26年度の目標面積に対し2割程度の借受しかなく、今後は推進チームを設置し、体制作りの強化を図りながら広報等を活用し更なる周知を図っていく。

○営農継続支払制度等の利用状況について

**問** 畑地かんがい事業を行うに当たっては、制度

を利用し収益が上がり安定した経営を図る事がもっとも重要と考えるが。

**答** 制度の周知と合わせて畑地における振興作物の選定を図っていく。

○農地維持支払制度について

**問** 農地維持支払制度の概要は？

**答** この事業は農地・農道等の管理を地域で行う事によって、農地集積を後押しするものである。

**問** 今後の新たな営農組合の設立の予定については？

**答** 町内では9つの集落営農組合が有るが、中山間に該当しない平場の農地等を対象に担い手からの要望もあり中央地区の設立に向け、各関係機関や団体等

と協議を行い検討する。

○農政改革に伴う農業委員の選出について

**問** 今後の選出の方法と任命に向けた推薦の考え方は？

**答** 本町農業の振興、更には新しい農業に対応する農地行政の推進に真に必要な委員の選出を、国が定める手続きの中で進めたい。

○農道整備について

**問** 狭野地区のほ場整備が完了してから約10年が経過しているが、まだ未舗装の道路が多く残されているが、今後の整備計画は？

**答** 現在の舗装整備率は52%で、未舗装の道路については、地元土地改良区と協議を図り財政状況を踏まえ年次的に進めていく。



# 広原地区の町道等の整備状況は？



入佐 廣登議員

○町道等の整備及び通行規制について

**問** 広原農業集落排水事業は、供用開始後20年経過し、排水管理設後の舗装の老朽化が進んでいる。補修整備計画は。

**答** 舗装打ち換えの優先順位を平成26年度に取りまとめられており、この町道については優先順位の高い箇所である。国の補助事業等

を使い年次的に整備を進めていく。

**問** 広原駅踏切ー今房線にカーブがきつく離合に支障をきたしている区間があり、舗装の老朽化も進んでいる。拡幅改良工事は。

**答** 地元地権者に相談しており、全体的な改良計画の方向で検討する。



▲県道西麓小林線

**問** 広原小学校前の県道西麓小林線の信号機設置について、平成23年度に県警察本部等に陳情を行ったが、経過は。

**答** 年一回、県警察本部を訪れて信号機設置の要望を行っている。県道の改良工事は終了しており、町としての対策を講じながら、引き続き要望していく。

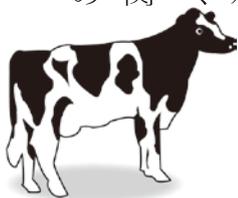
**問** 十文字から広原踏切間の通行規制の要望があるが。

**答** 県道西麓小林線と上平高原線とをつなぐ路線で、日常生活や経済活動に影響を及ぼす懸念がある。十文字交差点から今房線まで一体的な整備、改良を検討する。

○第14回全日本ホルスタイン共進会に向けて

**問** 共進会出品に対する助成等は検討できないか。

**答** 北海道での開催であり、移動日数を含め10日間程の長期となり、農業経営の負担になると推察する。負担軽減策として、県や経済連の支援対策など参考にJA関係機関と協議を進める。



○花嫁対策

**問** 婚活イベントの今後の取り組みは。

**答** 「結婚に関するニーズ調査」と「婚活イベント」の実施を予定している。イベントの内容、開催時期等については、早い時期にアンケート調査し検討する。



○町営住宅

**問** 広原地区町営住宅建設計画について、現状と今後の計画は。

**答** 現在、候補地の権利や隣接地の情報収集を行い、地権者との用地交渉に向けて、準備を進めている。

# 総括質疑

## 議案第36号

### ◎平成27年度高原町一般 会計補正予算(第1号)

#### ○マイナンバー制度について

**Q** マイナンバー制度について、導入の目的は？

**A** 国及び自治体が、税、社会保障、災害対策の3分野で個人情報を管理する制度であり、住民の利便性と公共サービスの効率化を目的として導入するものである。

平成29年から、行政手続きの本人確認にマイナンバーを使用することが確定している。本年10月から住民にマイナンバーが通知され、平成28年1月より、申請があれば、個人番号カードを交付する。個人番号カードには、氏名、住所、生年月日、個人番号の他、電子証明のみが記録され、所得等、プライバシー性の高い個人情報には記録されない。

**Q** マイナンバー制度のメリット、リスク及びそれに関する対応は。

**A** 例えばオンラインによる確定申告が可能となること、旅券申請時に住民票や戸籍の提出が不要になることがメリットとして挙げられる。

個人情報は、同じ場所で管理、処理されず、情報を保有する機関は従前どおり分散される。

また、自治体間で情報をやり取りする場合には、各自治体で異なるコードを使用した上で利用するので、一方の自治体で情報の漏洩があっても、他方自治体での情報の漏洩は遮断され、個人情報が芋づる式に抜き出されることはない。

更に、マイナンバー単独では手続きができない仕組みとなっている。

本町においては、個人情報の取り扱いの事務につき、272事務を精査し、個人情報に関連するとした事務258事務のうち67事務を抽出して、そのリスク分析やリスク軽減のための評価書を作成したところである。この評価書は、

特定個人情報審査会に届け出公表する運びである。

国の判断に留意しながら取り組んでいく予定である。

**Q** 役場庁舎内で、住民基本台帳を参照できるように運用されているが、この点につき、セキュリティ対策はどうか。

**A** 各職員がパスワードを持っており、情報の種類によっては、段階的に閲覧制限を設けている。更に、職員の情報閲覧につき、履歴が残るように管理・運用している。

#### ○ふるさと振興事業費等について

**Q** サイクルイベントを中止した経緯は。

**A** 町全域を対象にコース設定していたが、警察等関連機関と協議の結果、総合運動公園の周回コースに変更になり、参加者が集まらなかった。参加者及びマルシェ出店者への聞き取りを行い、総合的に判断した結果、開催を見送る決定をした。

**Q** 霧島登山マラソンの事業費60万円を財源振替で100万円に増額計上している理由は。

**A** 霧島登山マラソンは、本年10月11日開催に向け、関係機関との協議を進めている。14回目の開催となるが、関係機関への周知を行っているところである。

財源については、これまで実行委員会の町補助金と自前で工面していた部分を、補助金を活用した形で支援したい。

#### ○地域活性化事業費について

**Q** 事業費950万4千円の内訳は。

**A** 過去の一般質問に対し、町長が、道の駅を整備する答弁を行っており、この道の駅整備事業の基本構想策定に係る委託費として計上している。

#### ○総務管理費について

**Q** 口永良部島への職員派遣についての詳細と義援金10万円の根拠は。

**A** 口永良部島の137名の

島民が屋久島に避難している。本町も屋久島町と同様に活火山を有し、本町が被災した際には、三宅村、島原市からも職員派遣をいただいた。本町としても、直接出向いて支援したたく、その旅費として16万円を計上した。

また、日本で最も美しい村連合の加盟町村が被災した際には、本町は、過去4度、各20万円の義援金を送った実績がある。今回は、同じ活火山を有する町ということで10万円を計上した。

#### ○地域活性化事業費の予算計上時期について

**Q** 事業の基本構想に係る予算は、当該年度の当初予算に計上すべきであると理解しているが、これを補正予算で計上しているのはなぜか。

**A** 本件道の駅事業については、地権者との用地価格の交渉中であり、価格交渉に目処がつかず次第、基本構想を策定していく計画であった。よって、補正予算に計上する他なかった。

## 平成27年5月臨時会(第2回)・6月定例会(第3回)議案等

平成27年5月 臨時会(第2回) (報告1件、承認4件、同意1件)

報告第1号	平成27年度高原町土地開発公社予算について
承認第1号	高原町税条例等の一部を改正する条例に係る専決処分
承認第2号	高原町企業立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例に係る専決処分
承認第3号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例に係る専決処分
承認第4号	平成26年度高原町一般会計補正予算(第11号)に係る専決処分
同意第1号	監査委員の選任について

平成27年6月 定例会(第3回) (報告3件、承認5件、請願3件、発議1件)

報告第2号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
報告第3号	平成26年度高原町土地開発公社事業報告及び決算報告について
報告第4号	平成26年度高原町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について
議案第34号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第35号	高原町介護保険条例の一部を改正する条例
議案第36号	平成27年度高原町一般会計補正予算(第1号)
議案第37号	平成27年度高原町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案第38号	平成27年度高原町一般会計補正予算(第2号)
請願第1号	「集団的自衛権」に関わる法整備に反対する意見書の提出を求める請願書
請願第2号	高原町内の保育施設で勤務可能な保育士の確保等を求める請願書
請願第3号	株九州電力に住民説明会を求める請願書
発議第2号	「国民の理解と合意のないままに安全保障法制の見直しをおこなわないよう求める意見書」(案)

### 議案第36号 平成27年度高原町一般会計補正予算(第1号)補正の主な内容

科 目	金 額	財 源
①口永良部島被災に関する職員派遣及び義援金	26万円	一般財源
②乗合タクシー貼付のマグネット作成費用	8万1千円	一般財源
③地域活性化事業(道の駅基本構想策定) 委託料	950万4千円	一般財源
④地域イベント助成事業(霧島登山マラソン事業)	100万円	地域社会振興財団交付金
⑤ふるさと振興事業費	△530万円	ふるさと振興基金
⑥電子計算管理費(マイナンバー制度導入費用)	340万7千円	国庫支出金
⑦介護保険事業特別会計繰出金	306万4千円	国庫支出金及び県支出金
⑧児童福祉施設費	349万8千円	一般財源
⑨園芸作物振興対策事業補助金	5万円	一般財源
⑩畜産収益力強化対策事業補助金	7,734万4千円	県支出金
⑪西広原活性化センター備品購入費	220万円	一般コミュニティ助成事業による助成

議案第38号 平成27年度高原町一般会計補正予算(第2号) 補正の内容

科 目	金 額	財 源
<b>保健体育総務費</b> ・ 広原サッカースポーツ少年団全国大会出場補助金 ・ 高原野球スポーツ少年団全国大会出場補助金 ・ 第75回全国ウエイトリフティング選手権大会 出場補助金 ・ NKEドリームズ21選手全国大会出場補助金	70万3千円 (36万円) (27万3千円) (4万円) (3万円)	一般財源

平成27年5月臨時会(第2回)議決結果

議案番号	議 決 年月日	議決結果	①陣	②反	③北	④中	⑤温	⑥益	⑦松	⑧清	⑨入	⑩宮
			圭 介	田 吉 己	迫 泉	村 昇	谷 文 雄	本 一 博	元 茂 春	水 公 雄	佐 廣 登	司 勲
承認第1号	平成27年5月1日	承 認	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
承認第2号	平成27年5月1日	承 認	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
承認第3号	平成27年5月1日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第4号	平成27年5月1日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第1号	平成27年5月1日	同 意	○	○	除	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成、●：反対、除：除斥、欠：欠席

平成27年6月定例会(第3回)議決結果

議案番号	議 決 年月日	議決結果	①陣	②反	③北	④中	⑤温	⑥益	⑦松	⑧清	⑨入	⑩宮
			圭 介	田 吉 己	迫 泉	村 昇	谷 文 雄	本 一 博	元 茂 春	水 公 雄	佐 廣 登	司 勲
議案第34号	平成27年6月16日	可 決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	—
議案第35号	平成27年6月10日	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号	平成27年6月16日	可 決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第37号	平成27年6月10日	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号	平成27年6月16日	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第1号	平成27年6月16日	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第2号	平成27年6月16日	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第3号	平成27年6月16日	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第2号	平成27年6月16日	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成、●：反対、除：除斥、欠：欠席



ゆくさ  
おじゃったもした



# 農家民泊



むらうちさん家

日高さん



ご近所さんのご協力で、おもてなししている。子どもたちの素直さで勇気と元気をもらっている。高原町がもつと笑顔あふれる町になるといいと思う。



民泊をやって良かった。都会の子どもたちから田舎（高原町）の宝を教えてもらっている。もつと多くの人が民泊に取り組んで、高原町を情報発信してほしい。



あ  
と  
が  
き

◇議員になって初めての定例議会を経験した。緊張の中で責任の重さに身も心も打ち震える気持ちがあった。この初心を忘れずに行こうと思う。◇高原町が抱える課題の解決はそう簡単ではない。議会は町政を監視しつつ、なお、町民一体となったまちづくりを急がねばならない。◇議会だより編集委員が変わった。議会が見えない、何をしているかわからないという声をよく聞く。議会だよりがそうした課題の解決の一助になればと思っている。議会傍聴に来られない方にも議場内の正しい状況と雰囲気伝えていきたい。◇それでも、「百聞は一見に如かず」という。ぜひ、議会傍聴においでください。

(益本筆)